



# Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

## 県内の交通事故発生状況

《平成30年8月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	2,799	22	3,572
前年	3,204	31	4,069
増減	-405	-9	-497

### 〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう



	件数	死者	傷者
本年	789	12	461
前年	888	16	535
増減	-99	-4	-74

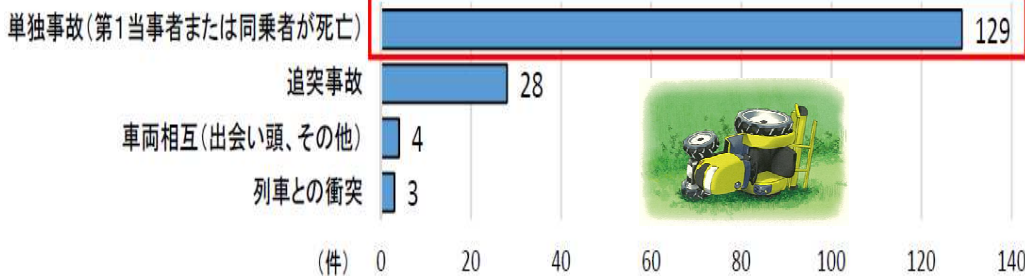
## ！ 農耕作業用自動車の関係する交通死亡事故発生状況 ～安全確認と予防対策で防ぎましょう～

毎年、農耕作業用自動車の関係する交通死亡事故が全国的に発生しており、過去5年間の農耕作業用自動車の交通死亡事故発生状況を見ますと、9月に比較的多く発生しております。また、県内でも過去5年間で5件発生しています。

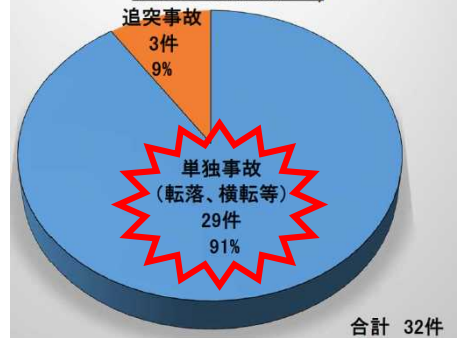
【過去5年間の全国で発生した交通死亡事故発生件数】 ※全国では、年平均で約33件発生している。

	H25	H26	H27	H28	H29	合計	年平均
交通死亡事故発生件数(件)	35	30	30	37	32	164	32.8

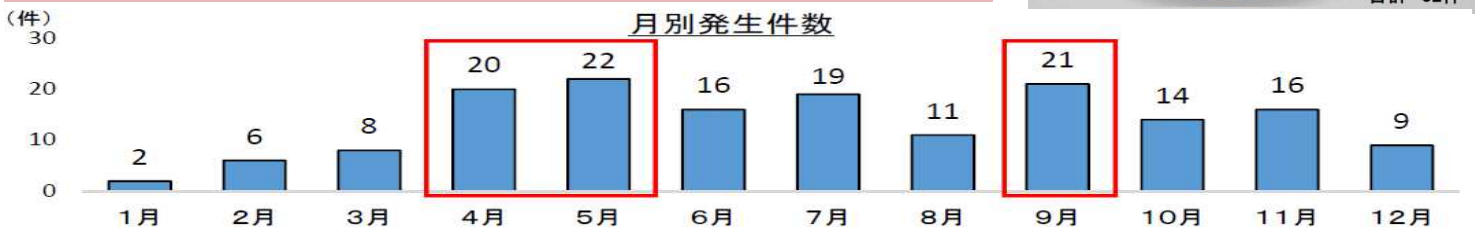
【交通事故の類型】 ※事故類型では、**単独事故**が圧倒的に多い。



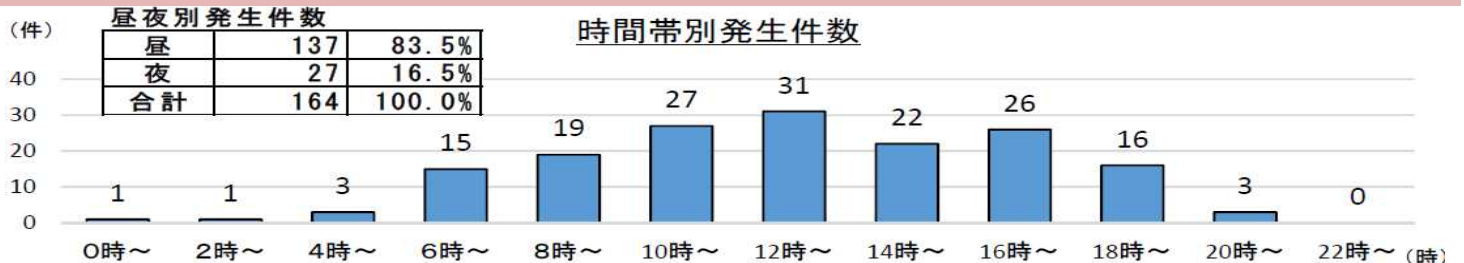
農耕作業用自動車が関係する交通死亡事故の事故類型別件数(H29)



【月別の発生状況】 ※月別では4月、5月、9月に比較的多く発生している。



【時間帯別】 ※昼間帯に多く発生している。

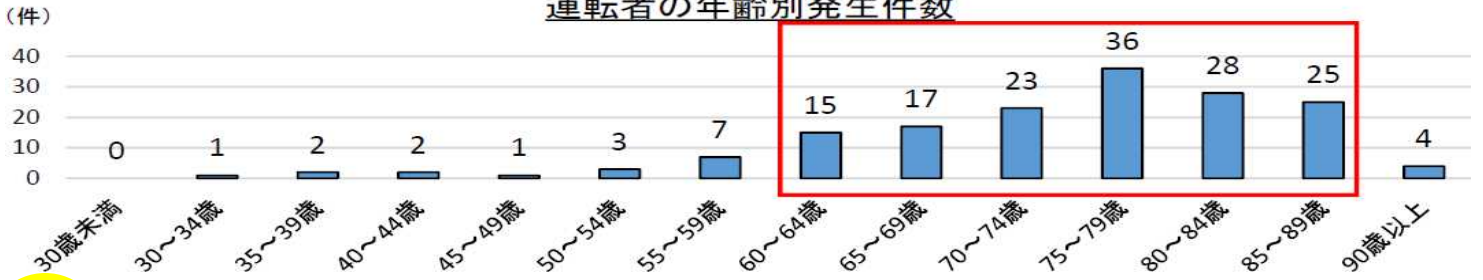


昼夜別発生件数		
昼	137	83.5%
夜	27	16.5%
合計	164	100.0%

時間帯別発生件数

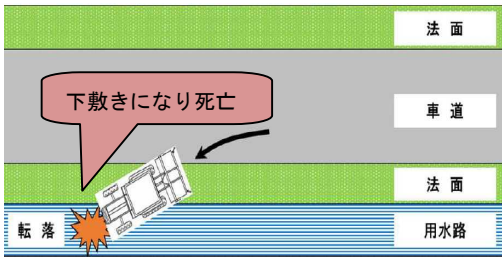
【運転者の年齢層】※運転者の年齢層を見ると、60歳以上90歳未満の高齢な年齢層が多い。

運転者の年齢別発生件数

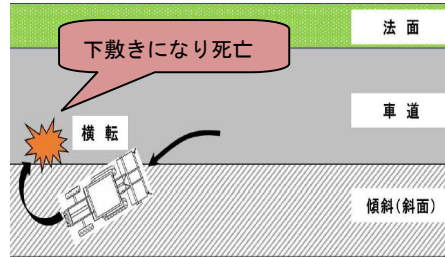


## ！ 主な交通死亡事故の事例

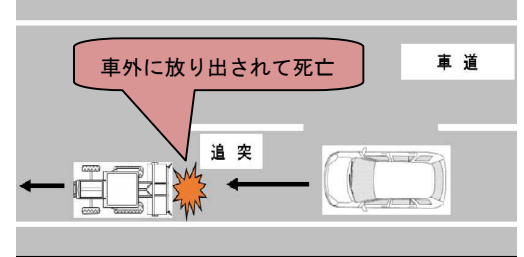
事例1【用水路の転落（単独事故）】



事例2【傾斜地で横転（単独事故）】



事例3【道路走行中における追突事故】



## ！ 農機による死亡事故対策の3つのポイント

ポイント1

### シートベルトの着用と安全キャブ・フレームの装着

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用しましょう。※(安全フレームは倒さず使いましょ)

トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。転落や横転、追突された場合に身体が投げ出されるのを防ぎます。

※車種によっては取り付けられないものもあります。



ポイント2

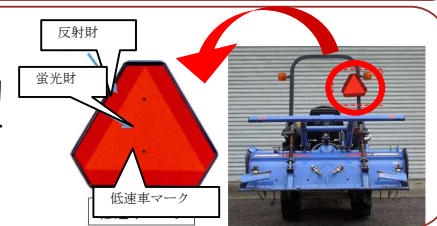
### ブレーキ連結の確認

道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

ポイント3

### 低速車マークや反射板の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気づいてもらうことが大切です。後続車から見えやすい位置に『低速車マーク』や『反射板』を取り付けましょう。



# 秋の全国交通安全運動

9月21日(金)～30日(日)

交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(日)

昭和43年から今日まで全国で交通死亡事故がゼロだった日は一度もありません。交通死亡事故がゼロになるよう、一人一人が安全運転を心がけましょう！

事故防止 びわ湖と同じ 日本一



事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp